

保険適用価格 (患者様自己負担額：30%) 2022.4～

2022/4/12改訂版

一般不妊治療管理料：750円 (3ヶ月に1回)

人工授精：5,460円

1、生殖補助医療管理料：750または900円 (体外受精周期毎)

排卵誘発剤：実費 (保険) 約1~2万円程度

超音波、ホルモン検査 (保険) 約 1万円程度

2、採卵基本料：9,600円 (0個の場合) A~Dは採卵毎で加算

A：1個 7,200円 (合計16,800円)

B：2~5個 10,800円 (合計20,400円)

C：6~9個 16,500円 (合計26,100円)

D：10個以上 21,600円 (合計31,200円)

3、授精法

3-1、媒精 (ふりかけ) 12,600円 (個数にかかわらず)

3-2、顕微授精 (ICSI)

A：1個 14,400円

B：2~5個 20,400円

C：6~9個 30,000円

D：10個以上 38,400円

★両方実施の場合は、顕微授精代+媒精の半分 (6,300円)

★TESE精子使用の場合は15,000円加算 ★卵子活性化:3,000円

4、受精卵培養 (採卵翌日から：受精した個数毎)

A：1個 13,500円

B：2~5個 18,000円

C：6~9個 25,200円

D：10個以上 31,500円

先進医療：タイムラプス培養加算 35,000円 (自費)

PICI加算 20,000円 (自費)

5、胚盤胞培養加算 (胚盤胞培養へ移行した胚数)

A：1個 4,500円

B：2~5個 6,000円

C：6~9個 7,500円

D：10個以上 9,000円

6、胚移植

A：新鮮胚移植 22,500円 (AHA/GLUE込み：28,500円)

B：融解胚移植 36,000円 (AHA/GLUE込み：42,000円)

★AHA (アシステッドハッチング) 3,000円

★GLUE (高濃度ヒアルロン酸含有培養液) 3,000円

7、胚凍結保存

A：1個 15,000円

B：2~5個 21,000円

C：6~9個 30,600円

D：10個以上 39,000円

例：完全自然周期 約10万円

管理料900円+採卵1個:16,800円+媒精12,600円+培養13,500円+タイムラプス35,000円 (自費) +PICI 20,000円 (自費) +新鮮胚移植22,500円 (薬剤、ホルモン検査、超音波で約8,000円)

例：刺激周期 (採卵10個、新鮮胚移植、余剰胚凍結2個の場合) 約17-18万円

管理料900円+採卵10個:31,200円+媒精12,600円+培養(仮:7個)25,200円+新鮮胚移植22,500円+タイムラプス35,000円 (自費) +PICI 20,000円 (自費) +胚盤胞(5個) 6,000円+凍結(2個)21,000円 (薬剤、ホルモン検査、超音波で約2~3万円)

例：刺激周期 (採卵15個、全胚凍結、余剰胚凍結4個の場合) 約15-16万円

管理料900円+採卵15個:31,200円+媒精12,600円+培養(仮:9個)25,200円+タイムラプス35,000円+PICI 20,000円 (自費) +胚盤胞(8個) 7,500円+凍結(4個)21,000円 (薬剤、ホルモン検査、超音波で約2~3万円)

例：融解胚移植周期 約5-6万円

管理料900円+融解胚移植 (AHA/GLUE込み) 42,000円 (薬剤、ホルモン検査、超音波で約1~2万円)

★別途、高額療養費制度あり!

※回数制限は「移植」
でカウントです!!
※将来使用目的での採
卵は保険対象外です